

BTSJ 入力の仕方マニュアル

注意事項
<ul style="list-style-type: none">• 入力の際、英数字はすべて半角にする。• 記号は、半角にできるものは半角、全角でなければ出てこないもののみ全角にする。
手順
エクセルの書式設定 <ul style="list-style-type: none">• フォントは MS P 明朝、サイズは 10 にする。• 列の幅を決める。 A～D の列幅は 5.00 に、E の列幅のみ 55.00 にする。• 列の配置を決める。 列 A～E を選択し、右クリックをして、「セルの書式設定」を選ぶ。「配置」シートを出し、文字の横位置を「中央揃え」、縦位置を「上詰め」にし、「文字の制御」から「折り返して全体を表示する」を選ぶ。
「会話の基本情報」と「基本項目」設定 <ul style="list-style-type: none">• 1 行目に「会話の基本情報」を入力する。 A1「会話グループの特徴」、B1「会話記号(話者記号を連結したもの)」、C1「話者記号の凡例」、D1「会話番号」、E1「時間」、F1「1 会話における話者の数」• 2 行目に「基本項目」を入力する。 A2「ライン番号」、B2「発話文番号」、C2「発話文終了」、D2「話者」、E2「発話内容」
「話者」、「発話内容」の入力 <ul style="list-style-type: none">• 「話者」入力 例：話者記号を「BF01」と「SF01」とする場合 「話者」の列に、最初は「B」「S」など、1 文字だけ入れていく。「話者」は、置換機能を使うと簡単にできる。• 「発話内容」入力 宇佐美まゆみ(2011 年)「改訂版：基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)2011 年版」に従い、発話文を入力していく。• 置換

「発話内容」を入力した後で、「話者」の列 (D) を選択した後、メニューの「編集」から「置換」を選ぶ。

例えば、話者記号を「BF01」と「SF01」とする場合、「検索する文字列」の項に「B」、「置換後の文字列」の項に「BF01」を入れて、「すべて置換」を選ぶと、文字が一気に置き換えられる。「S」も同様に繰り返す。

「発話内容」の中には、話者名ではない「B」や「S」がある可能性があるので、「発話内容」は、独立して選択し、確認しながら、「置換」を行う。

「すべて置換」ではなく、「検索」→「置換」をひとつずつ行くと確認できる。

「発話文終了」の入力

- ・発話文が終了しているラインの「発話文終了セル」に終了マーク「*」を入力し、終了していないセルに「/」を入力する。

「フィルタ」をかける

- ・「フィルタ」のかけ方
メニューの「データ」から「フィルタ」を選ぶと、それぞれの枠の右下に逆三角形のマークができる。
- ・「フィルタ」を使って、記号の入力確認をする。
「発話文終了」の枠にある逆三角形をクリックすると、選択項目が現れる。
ここで「*」と文末の「。」、「/」と文末の「, ,」が、それぞれ対応していることを確認する。
- ・「フィルタ」を使って、話者の色分けをする。
「話者」の枠にある逆三角形をクリックすると、選択項目が現れる。
例えば、話者記号を「BF01」と「SF01」とする場合、「BF01」を選ぶと、「BF01」のみの列が選択されるので、色付けしたい範囲をすべてマウスで囲って選択し、「塗りつぶしの色」から薄緑色を選ぶ。以下、同様に「SF01」を選択し、薄黄色をする。

「発話文番号」、「ライン番号」の入力

- ・「発話文番号」の入力
「フィルタ」機能を使い、入力に間違いがないかを確認した後（入力ミス、訂正があったら、番号がずれてくることがある）、「発話文番号」を入力していく。

「発話文番号」については、宇佐美まゆみ(2011 年)「改訂版: 基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)2011 年版」の中の定義と例を参照し、「番号」と「発話文」が対応していることを確認する。

- ・「ライン番号」の入力

最後に、「ライン番号」の列に、通し番号をふる。

フッターに必要情報を記入

- ・「フッター」の設定

メニューの「挿入」から「フッター」を選択する。「右側」にカーソルを置き、フォントは MS P 明朝で、サイズは 9 にする。

- ・フッターに文字化作業回数、作業者及び作業を終えた日付を順に記しておく。

例 1 次: 外大花子(120115) 2 次: 府中太郎(120125) 3 次: 朝日町子(120205)

罫線を引く

- ・記入したすべてのセルをドラッグし、右クリックする。

「セルの書式設定」を選択し、「罫線」の画面を出す。

外枠のみ実線、中を一番細かい点線にする。

引用文献

宇佐美まゆみ(2011 年)「改訂版: 基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)2011 年版」

<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj2011.pdf>